

財務諸表(連結)

連結貸借対照表(要旨) (単位:千円)

科目	当期 (2016年8月31日現在)	前期 (2015年8月31日現在)
(資産の部)		
流動資産	2,306,429	2,532,717
固定資産	954,362	892,689
資産合計	3,260,791	3,425,407
(負債の部)		
流動負債	868,652	868,606
固定負債	596,070	518,704
負債合計	1,464,723	1,387,310
(純資産の部)		
株主資本	1,757,150	1,998,216
新株予約権	40,404	22,517
純資産合計	1,796,068	2,038,096
負債・純資産合計	3,260,791	3,425,407

連結損益計算書(要旨) (単位:千円)

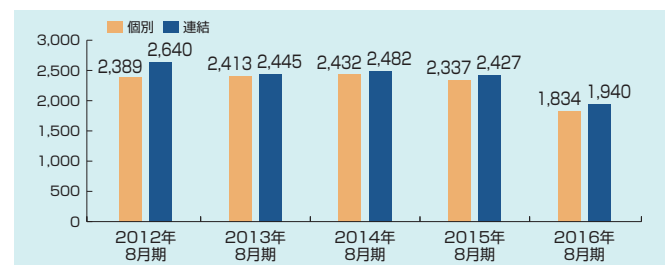
科目	当期 (2015年9月1日から 2016年8月31日まで)	前期 (2014年9月1日から 2015年8月31日まで)
売上高	1,940,567	2,427,821
売上原価	978,635	1,013,554
売上総利益	961,932	1,414,266
販売費及び一般管理費	935,801	1,146,186
営業利益	26,130	268,080
営業外収益	2,462	8,635
営業外費用	88,691	60,408
経常利益又は経常損失(△)	△ 60,097	216,307
特別利益	15,370	30,526
特別損失	79,469	169,927
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△ 124,197	76,906
法人税、住民税及び事業税	1,043	43,735
法人税等調整額	15,690	△ 34,058
当期純利益又は当期純損失(△)	△ 140,931	67,229
非支配株主に帰属する当期純損失(△)	△ 1,342	△ 18,959
親会社に帰属する当期純利益又は親会社に帰属する当期純損失(△)	△ 139,588	86,188

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨) (単位:千円)

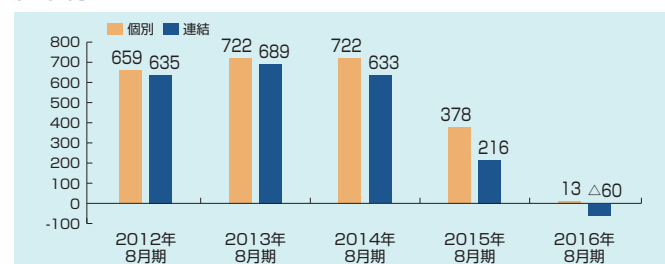
科目	当期 (2015年9月1日から 2016年8月31日まで)	前期 (2014年9月1日から 2015年8月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	196,956	185,988
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 363,001	△ 277,005
財務活動によるキャッシュ・フロー	10,988	△ 180,728
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 6	453
現金及び現金同等物の増減額	△ 155,063	△ 271,291
現金及び現金同等物の期首残高	1,890,132	2,119,788
現金及び現金同等物の期末残高	1,735,069	1,890,132

財務ハイライト

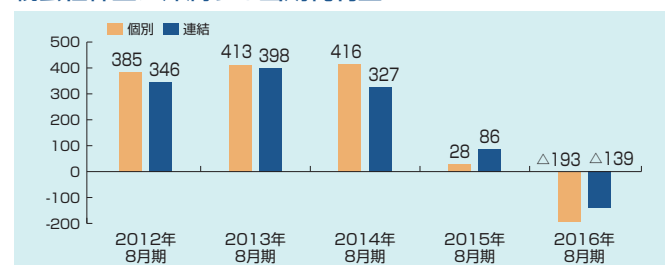
売上高 (単位:百万円)



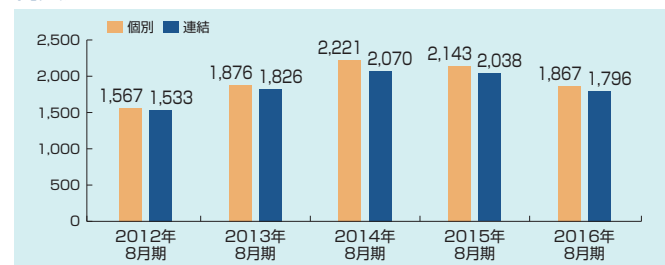
経常利益 (単位:百万円)



親会社株主に帰属する当期純利益 (単位:百万円)



純資産 (単位:百万円)



会社概要 (2016年8月31日現在)

商号 株式会社メディア工房
 所在地 〒107-0052 東京都港区赤坂4-2-6 住友不動産新赤坂ビル12階
 TEL: 03-5549-1804 FAX: 03-3586-4480
 設立 1997年10月
 資本金 451百万円
 事業内容 デジタルコンテンツの制作、配信事業
 eコマース等による物販事業
 従業員数 116名(連結)

株式の状況 (2016年8月31日現在)

発行可能株式総数 45,200,000株
 発行済株式の総数 11,300,000株
 株主数 4,688名
 所有者別株式分布状況

所有者別	株数	割合
個人・その他	10,079,501株	89.20%
金融機関(証券会社を除く)	43,100株	0.38%
その他国内法人	222,000株	1.96%
外国法人等	154,700株	1.37%
証券会社	211,823株	1.87%
自己名義株式	588,876株	5.21%

株主メモ

事業年度 毎年9月1日から翌年8月31日まで
 定時株主総会 11月
 基準日 8月31日
 公告方法 電子公告により当社ホームページ
 (<http://www.mkb.ne.jp/>)に掲載致します。
 ただし、事故その他のやむを得ない事由によっ
 て電子公告による公告をすることが出来ない場
 合は、日本経済新聞に掲載致します。
 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
 三井住友信託銀行株式会社
 同事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
 (郵便物送付先) 〒168-0063
 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
 (電話お問合せ) 0120-782-031 (フリーダイヤル)

株主・投資家通信

第19期決算のご報告

2015年9月1日~2016年8月31日



証券コード: 3815

メディア工房 検索 <http://www.mkb.ne.jp/>

第19期におけるわが国の経済は、雇用・所得環境、また、原油価格の低下などにより交易条件が改善し、緩やかな回復基調となりましたが、一方で、海外においては難民問題やテロ事件の多発、英国のEU離脱問題、中国をはじめとする各新興国の経済の減速など、依然として景気停滞の懸念要因が残る状況となっています。



代表取締役社長
長沢 一男

このような経済情勢の中、当社グループは、総合デジタルコンテンツ企業として積極的な世界展開を図り、主力である占いコンテンツ事業において名実ともにNo.1企業を目指すとともに、ゲームコンテンツ事業における子会社設立及び事業譲受を含む再編やAR技術等の様々な新規事業への先行投資、また、コンプライアンスの強化を目的とした社内体制の整備等に力を注いで参りました。

誠に残念ながら、第19期においては、占いコンテンツ事業の会員数減少並びに大ヒットコンテンツの不在や、ゲームコンテンツ事業の開発遅延並びに体制変更に伴うリリースタイトルの見直し等が影響し、当初の売上予測を大幅に下振れ、減収・減益となりました。しかし、第20期におきましては、占いコンテンツ事業におけるカジュアル系アプリの広告収入や電話占いサービスにおける新規サービスの強化、新設子会社におけるソーシャルゲームのセカンダリー事業による安定的収益、及びIPを活用した低コストな新規タイトルのリリースによる売上寄与のもとに、増収増益となるよう尽力して参ります。

こうした積極的な事業活動を行うことが出来るのは、ひとえにステークホルダーの皆様のご支援の賜物でございます。

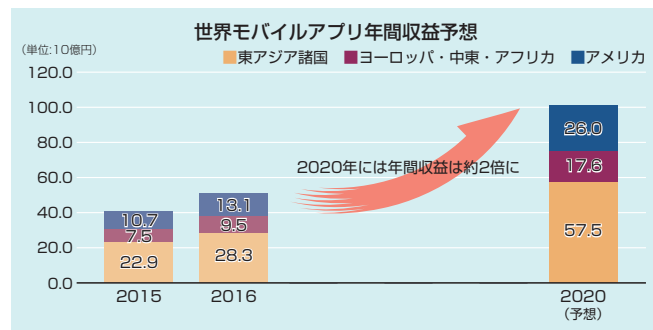
また、当社は株主の皆様のご期待に応えるべく、お客様の多様なニーズに柔軟に適応したコンテンツ及びサービスを提供し、今後も積極的に新規事業の開拓及び海外展開を行い、経営資源を効率よく合理的に運用していくことで、企業価値の向上を図って参ります。

株主の皆様におかれましては、相変わらぬ厳しくも温かなご支援を賜りますようお願い申し上げます。

1 事業を取り巻く環境

当社グループの中心事業であるデジタルコンテンツビジネスにおいては、2016年3月末時点の国内携帯電話出荷台数806万台のうちスマートフォンは654万台となっており、^(注1)国内におけるスマートフォン移行期は終盤に差し掛かっていると予測されますが、一方で新興国を含む各国においてはその普及は拡大し続けております。また、世界のモバイルアプリストアの合計収益は2016年には510億ドル、2020年には1,010億ドルまで成長を遂げると予想されております。そしてそのダウンロード数の3分の1は中国によるものと言われており^(注2)、事業環境と致しましてはまだまだ世界的な十分な成長の余地を残していると思われまます。

(注1) MM総研の調査による。
(注2) App Annieの「モバイルアプリ市場予測：市場規模1000億ドルへの道筋」(2016年2月)による。



2 海外展開と新規事業への投資

当社は今後積極的且つ大々的な世界展開をひとつの目標として各事業に取り組んで参ります。第20期においては、占い・ゲームコンテンツ事業ともに、Appstore/GooglePlayStoreに限らず、第19期において台湾の占いポータルサイト「click108」へコンテンツを配信したように、各国におけるローカルプラットフォーム等へのコンテンツを提供にも注力して参ります。

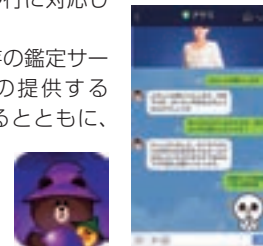
また、新規事業への積極的な取り組みを行うことで、一部事業への依存比率を低減していくことを経営戦略のひとつと位置付けており、第20期においてはAR事業並びにAI事業への先行投資を積極的に行っていく所存です。

3 各事業部の今後の方針

① 占いコンテンツ事業

多様かつ潜在的なユーザーのニーズに柔軟に対応したコンテンツを提供するとともに、中国・東南アジア各国を中心とした世界展開に注力することで、収益基盤の拡充及び世界的な認知度の向上を目指して参ります。スマートフォン向けコンテンツとして、占いに限らない多彩なカジュアル系アプリを継続的に配信してダウンロード数を伸ばし、広告収入を確保することにより、従来型の月額課金モデルからフリーミアムモデルへの課金システムの移行に対応して参ります。

電話占いサービスにおきましては既存の鑑定サービスのほか、引き続きLINE株式会社の提供する「LINE悩み相談所」へ占い師を提供するとともに、第20期より開始するチャット形式の「LINEトーク占い」への占い師提供を強化することで、増収増益となるよう注力して参ります。



② ゲームコンテンツ事業

第20期より、「OBOKAID'EM」、「株式会社ブルークエスト」、「株式会社ルイスファクトリー」の3ブランドで、グローバル市場におけるカジュアルゲームの配信、海外輸入ゲームのパブリッシング、国内セカンダリー市場における運営受託、及び国内課金に特化したゲーム配信をそれぞれのブランドにて専業し、事業そのものの質を高めていく所存です。特にルイスファクトリーにおいては、ソーシャルゲームのセカンダリー事業による安定的な収益とセカンダリー事業において運営移管したゲームタイトルのIP^(注)を活用した低コスト新規タイトルの実現という強みを持ち合わせており、当社ゲーム事業における収益基盤の確立に大きく寄与するものと考えております。

(注) 知的財産権：Intellectual Property



③ その他

既存の新規事業に関しましては、アイドルクラウドディングサービス「girls be」を引き続き行うとともに、女性向け情報サイト「omotano」の配信停止、ファッションレンタルサービス「Licie」からの撤退を行い、不採算事業の事業整理による営業利益の回復を見込んでおります。

貸借対照表(要旨)

(単位:千円)

科目	当期 (2016年8月31日現在)	前期 (2015年8月31日現在)
(資産の部)		
流動資産	2,123,723	2,545,353
固定資産	1,192,011	986,394
資産合計	3,315,734	3,531,747
(負債の部)		
流動負債	852,427	871,301
固定負債	596,070	516,454
負債合計	1,448,498	1,387,755
(純資産の部)		
株主資本	1,826,831	2,121,474
新株予約権	40,404	22,517
純資産合計	1,867,236	2,143,992
負債・純資産合計	3,315,734	3,531,747

損益計算書(要旨)

(単位:千円)

科目	当期 (2015年9月1日から 2016年8月31日まで)	前期 (2014年9月1日から 2015年8月31日まで)
売上高	1,834,480	2,337,466
売上原価	895,794	916,322
売上総利益	938,686	1,421,143
販売費及び一般管理費	893,703	1,028,572
営業利益	44,982	392,571
営業外収益	2,373	6,822
営業外費用	34,147	21,197
経常利益	13,208	378,195
特別利益	15,370	2,797
特別損失	200,947	342,576
税引前当期純利益又は税引前当期純損失(△)	△ 172,368	38,416
法人税、住民税及び事業税	657	43,255
法人税等調整額	20,139	△ 33,724
当期純利益又は当期純損失(△)	△ 193,165	28,885